

**特別活動 学級活動(2) 指導案作成例**

第○学年○組 学級活動(2) 指導案

題材は教師が設定する。

令和○年○月○日 (○) 第○校時  
指導者 教諭 ○○ ○○

年間指導計画第○学年○月題材 学級活動(2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全

**1 題材** 「運動会を振り返ろう」

学級活動(2) ア 自他の個性の理解と尊重、よりよい人間関係の形成

**2 題材について**

(1) 生徒の実態 (略)

- ・本題材に関わるアンケート等の結果を踏まえた生徒の実態
- ・これまでの学級活動の取組 ・評価規準からみた実態と目指す方向

(2) 題材選定の理由 (略)

- ・本題材設定の理由 ・本題材における指導の工夫と評価との関わりについて

※以下に示した項目の内容を含んだものにして記述すること。

『指導と評価の一体化』  
のための～』P. 25第2  
編を参考にする。

**3 学級活動(2) 評価規準**

|  |   |  |
|--|---|--|
| よりよい生活を築くための知識・技能  | 集団や社会の形成者としての思考・判断・表現   | 主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度   |
| 自己の生活上の課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解している。<br>適切な意思決定を行い実践し続けていくために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。 | 自己の生活や学習への適応及び自己の成長に関する課題を見出している。<br>多様な意見をもとに自ら意思決定して実践している。 | 他者への尊重と思いやりを深めてよりよい人間関係を形成しようとしている。<br>他者と協働して自己の生活上の課題解決に向けて、見通しをもったり振り返ったりしながら、悩みや葛藤を乗り越え取り組もうとしている。 |

※評価規準は、学習指導要領「特別活動の目標」と自校の実態を踏まえて、学校ごとに設定すること。

**4 事前の指導**

| 生徒の活動  | 指導上の留意点  | ◎目指す生徒の姿<br>【観点】〈評価方法〉   |
|--|--|--|
| ○運動会に向けて、学級や個人の目標を設定する。<br>(学級活動)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級目標を踏まえてどんな運動会にしたいか話し合わせ、学級テーマを集団決定させる。</li> <li>・学級のために自分は何ができるかを考えさせ、個人目標を「運動会頑張りカード」に記入させる。</li> </ul> | ◎運動会への意識を高めるとともに、互いの良さを認め合いながら、自分の目標を達成するべく、取り組もうとしている。<br><br>【主体的態度】<br>(エールカード・運動会頑張りカード) |
| ○友達への励ましの言葉を互いに「エールカード」へ記入し、教室に掲示する。<br>○学級や個人への目標に基づいて毎日の取組を自己評価する。(朝の会・帰りの会) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自他の良さを認め合えるように促す。</li> <li>・運動会頑張りカードを使用する。</li> <li>・教師も生徒一人一人の頑張りを紹介したり、運動会頑張りカードにコメントを添える。</li> </ul>   |  |
| ○運動会当日   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の立てた目標の達成に向けて取り組ませる。</li> </ul>  |  |

### 5 本時のねらい

運動会を通して学んだことを、これからの学校生活にどのように生かしていくのか、目標や取組方法について一人一人が自己決定できるようにする。

### 6 本時の展開

|      | 生徒の活動  | 指導上の留意点  | ◎目指す生徒の姿<br>【観点】〈評価方法〉  |
|------|--|--|---|
| 導入   | 1 本時のねらいを確認する。   |  |   |
| つかむ  | <b>「運動会頑張りカード」を活用して、具体的に振り返り、自分が学んだことを考える</b>  |  |   |
| 5分   | 2 本時の活動の流れを確認する。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会に向けてのこれまでの、事前の活動を振り返りながら、本時の流れを確認する。</li> <li>・運動会頑張りカードの準備。</li> </ul>                     |   |
| 展開   | 3 運動会の活動の様子を撮影した動画を視聴する。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会当日だけではなく、準備や練習の様子を撮影しておく。</li> </ul>  |   |
| さぐる  | 4 「運動会頑張りカード」で、自分の頑張りを振り返る。<br>○自分の目標を達成できたか。<br>○自分の役割を果たすことができたか。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人で振り返る。</li> <li>・カードを見て、なるべく具体的に、どの程度達成できたか、どれくらい役割を果たしたかを考えさせる。</li> </ul>                  | <p><b>「十分満足できる活動の状況」を的確に見取るため、具体的な姿を想定する</b></p>                    |
| 10分  | 5 グループを作り、運動会で学んだことを話し合う。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・カードをもとに、互いの頑張りや、もっと頑張りたかったことを振り返らせる。</li> <li>・各グループ4～5人</li> <li>・付箋紙等を活用して話し合わせる。</li> </ul> |   |
| 見つける | <p><b>タブレットやミニホワイトボード等を活用して話し合うことも工夫として考えられる。</b></p>  |  |   |
| 10分  | 6 話し合ったことなどをもとに、運動会を通して学んだことをどのように生かしていくのか、目標や取組方法を一人一人自己決定する。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートにまとめさせる。</li> <li>・後ほど、自己決定した内容を発表すること、掲示することを予告する。</li> </ul>                           | <p>◎学んだことを具体的に、出し合い、自分の課題につなげて考えている。</p> <p>【思考・判断・表現】<br/>〈観察〉</p> |
| 終末   | 7 自己決定した目標や取組方法を、一人一人が決意表明として、発表する。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・聞く態度など、あらかじめ確認し合う。</li> </ul>  | <p>◎自分の課題に合った具体的な目標を決めている。</p> <p>【思考・判断・表現】<br/>〈ワークシート〉</p>       |
| 決める  | 8 先生の話聞く。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の様子だけではなく、これまでの取組の様子、事後の活動について、教師の思いも含めて話をする。</li> </ul>                                     |   |
| 20分  | <p><b>【努力を要する活動の状況と判断される場合】は、児童の家庭の様子を聞きながら、板書や友達の発言等から、具体的な目標設定をするよう促す等、どのような支援をするかを具体的に設定しておく。(指導上の留意点などに記述すると良い。)</b></p> |  |   |

## 7 事後の指導

| 生徒の活動   | 指導上の留意点  | ◎目指す生徒の姿<br>【観点】〈評価方法〉  |
|---|--|---|
| <p>○自分の立てた目標や取組について一人一人が実践する。</p> <p>○実践したことを振り返る。<br/>(朝の会・帰りの会)</p> | <p>・事後に振り返る機会を設定し、実践化に向けて継続した取組になるように助言する。</p> <p>・朝の会、帰りの会などを利用して、友達同士で取組を確認し合う場を設け、お互いの頑張りを励まし合うことにより、実践の継続を図るようにする。</p> | <p>◎今後の行事等における日常生活の実践の過程で、自己の課題を改善しようとしている。</p> <p>【知識・技能】<br/>〈ワークシート〉</p> |

※評価は、本時のみで見取るのではなく、事前・事後も確実に評価すること。

## 8 板書計画 (略)

※国立教育政策研究所「学級・学校文化を創る 特別活動 中学校編」などを参考にすること。

### 《参考・引用文献》

『中学校学習指導要領 (平成 29 年告示) 解説 特別活動編』(文部科学省 2017 年)

『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』

(文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センター 2020 年)

『学級・学校文化を創る 特別活動 中学校編』

(文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センター 2015 年)